

冊子「目薬 Q&A – 正しい目薬の使い方」の作成とその成果

池田博昭*、塚本秀利**、佐藤英治、杉本文子*、
野間英孝**、三嶋 弘**、木平健治*

日本病院薬剤師会雑誌, 39 (8), 985-988(2003)

Evaluation of Booklet for Patients Entitled “How to Use Ophthalmic Solutions”

Hiroaki Ikeda * , Hidetoshi Tsukamoto ** , Eiji Sato, Ayako Sugimoto * ,
Hidetaka Noma ** , Hiromu K Mishima ** , and Kenji Kihira *

抄録 眼科医および病棟担当薬剤師が共同して点眼指導の内容を統一し、誰もが同じ内容の指導ができるように患者向けの冊子を作成した。この冊子を眼科主催の公開講座や病棟活動において点眼指導に活用した。患者からは、冊子がわかりやすい、医師と薬剤師が同じ内容を指導してくれるので安心である、等の評価が得られた。患者は複数の施設にて眼科を受診することも考えられるため、多くの施設でこの冊子を導入し、標準化した点眼指導を行う必要がある。そこで、広島県病院薬剤師会会員の施設（病院、薬局）に薬・薬連携の一環として本冊子を配布した。効率的な点眼指導、薬・薬連携を行うにあたって、本冊子は重要なツールになるものと思われる。

* Department of Pharmaceutical Services, Hiroshima University Hospital

広島大学病院 薬剤部

** Department of Ophthalmology and Visual Sciences, Hiroshima University, Graduate School of Biomedical Sciences

広島大学大学院医歯薬学総合研究科視覚病態学